



第353号  
発行所  
文通村事務局  
編集 広報部  
千葉県成田市

# 受け手の心で 輝くもの

## 何気ないこと

ある日弁当を食べていたときのこと。誰からともなく子どもの頃に好きだったおかずの話を始めたので、思い返してみると真っ先に思いついたのが卵焼き。

お店で売られている卵焼きのように出汁が入っているような凝ったものではなく、砂糖を入れているだけのとてもシンプルなレシピのそれは、私にとつての「お袋の味」で、今でもたまに食べたくなる一番好きな卵焼き

と言えるもの。

母にとつては毎日悩まされる弁当の献立を考えるうえで、子どもの好物の卵焼きは何も考えずに弁当箱のスペースを埋められるおかずという程度の認識だったようですが、私にとつてはきつと生涯忘れることのない特別な一品。

そんな風に私が思っていたことは、母にとつては意外なことだったそうです。きつと多くの人が家族



に料理を作るときに、生涯忘れられない一品を作ろうと思つて作っているわけではないでしょう。それでも何気なく作っていたものが、数年後、数十年後と思ひ出と一緒に残り続けるもの。

「特別なもの」というのは意外とそういうものなのかもしれません。きつとそれは料理だけでなく、誰かにしたことやかけた言葉についても

同じこと。何気なくしたことや、かけた言葉が自分で思つている以上に相手の心に残り影響を与えることも。例えば手紙に綴った何気ない言葉が受け取った人の日々の活力になったり、時には生涯忘れられない支えになったりすることもあるかもしれません。

皆さんの間を歩き交うたくさんの手紙の中にも、そんな言葉がそつと隠れているのではないでしょうか。送った人が思っている以上に心に残っている、そんな温かい言葉が。

## 次回発送日

次回の発送日は、9月17日の予定です。送りたいお手紙がある場合には3日前（9月14日）までに事務局に到着するようお送りください。

## お知らせ

### ★感想・体験談

皆さんのお声をウェブ上で掲載させていただきます。方法は事務局宛てのメモや便せん、何でも有り難いです。頂いたメッセージは個人情報をお伏せした上でご紹介させていただきます。いつも、事務局へのお手紙ありがとうございます！ご要望等もお気軽にお送りください。

## 新たな楽しみ

休日の昼下がり、外はまるで焼けつくような暑さ。そんな日は外の活動は早々に諦めて、家の中で時間を充実させることを考える。最近のお気に入りの過ごし方は、明るいうちからゆつかりとお風呂に入ることだ。軽く家事を済ませた後、バスタブにお湯を張る。ぬるめのお湯に体を沈め、

窓からの日の光が水面で揺れるのを眺める。夜とはちがう浴室の雰囲気、なんだか贅沢な気持ちになりと体を拭く頃には、心も体もすっかりリフレッシュされている。外はまだ暑さが続いている、心は穏やかで、午後の時間をゆったりと過ごす準備ができています。

暑い日々にはびつたり、新たな夏の楽しみだ。